

留学生をインバウンドに活かすために —留学生政策とインバウンド—

2016年5月9日

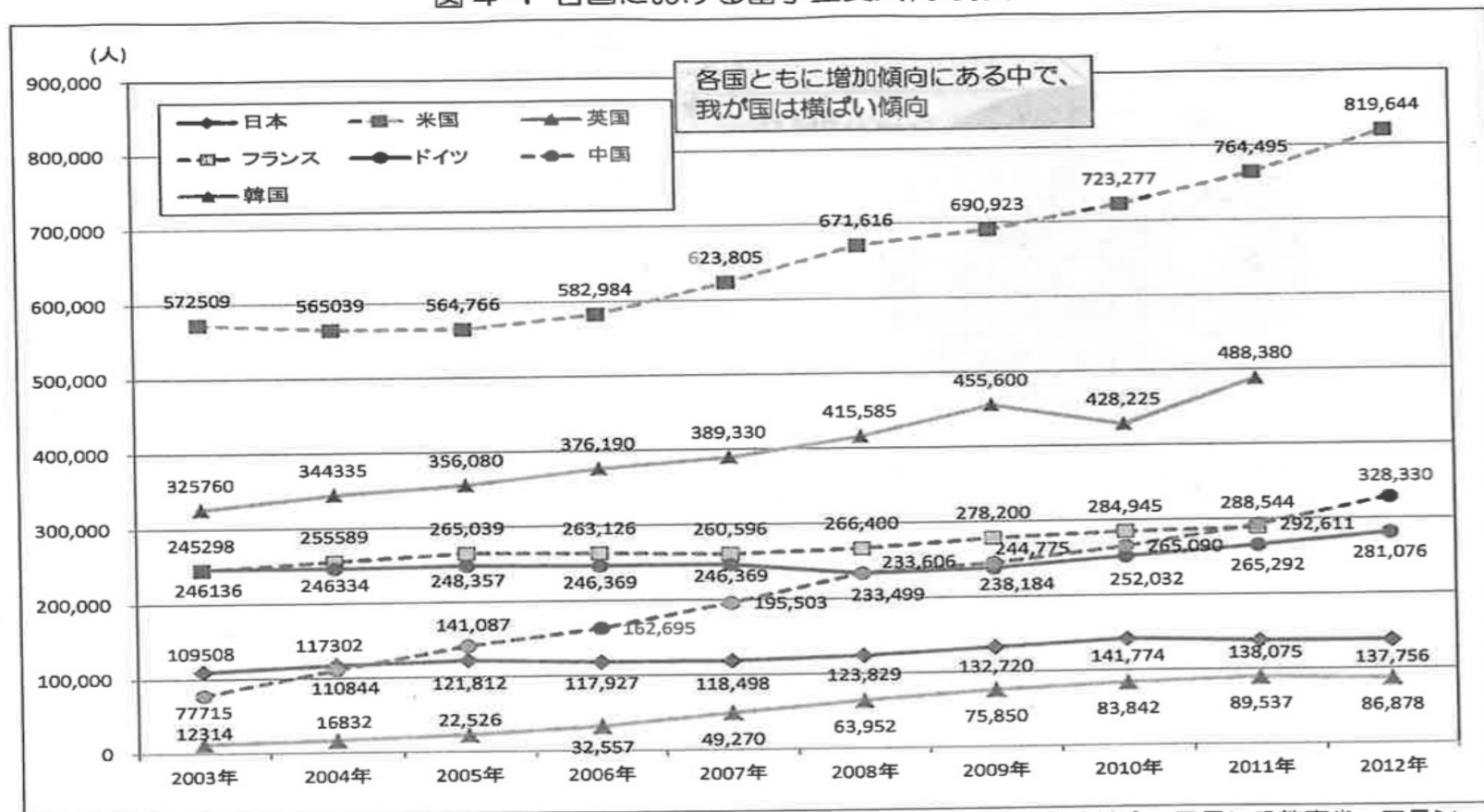
エール学園理事長 長谷川恵一

生産人口の減少時代

- 対策を打たなければ2030年には、1300万人生産人口が減り、GDPも下降していく
- 対策とは女性の活躍、高齢者の活用、外国人の活用となる。
- これらのすべての対策を打ったとしても、GDPの減少は避けられそうにないが、手を打たないともっと状況が悪くなる

各国の留学生受け入れ推移

図 4-1 各国における留学生受入れの推移



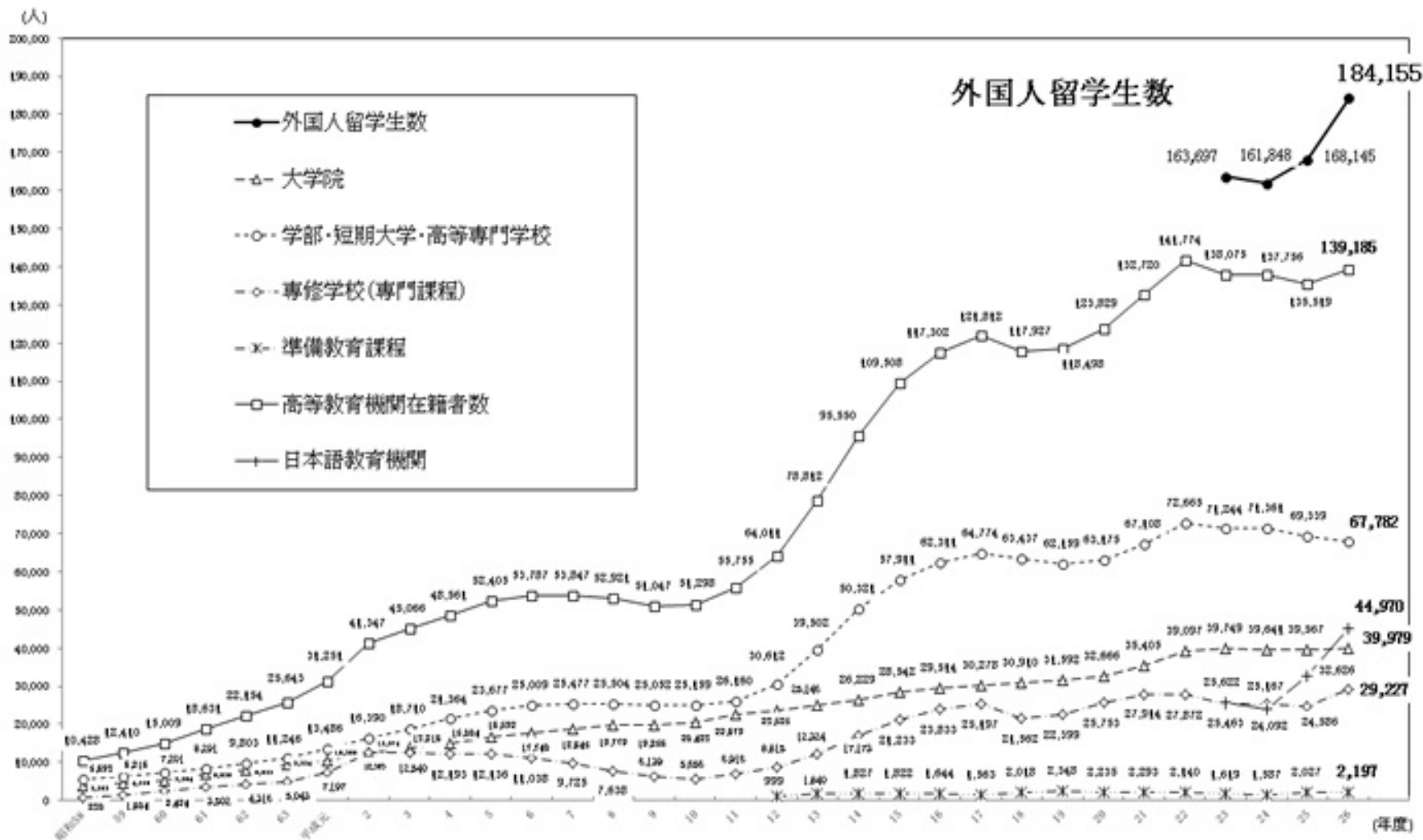
注) 米国 IIE「OPEN DOORS」及び英国高等教育統計局、ドイツ連邦統計庁、ドイツ学術交流会、フランス教育省、フランス外務省、中国教育部、韓国教育開発院、外務省、文部科学省、日本学生支援機構それぞれの調査による。

出典：「平成 25 年度版文部科学白書」（平成 26 年 8 月）より作成

日本に滞在する外国人

- 日本の外国人人口は212万人(2014年)
- 留学ビザは18,4万人(2014年学生支援機構)
- 技能実習ビザの単純労働者の来日は16万人、今後3年から5年に延長で増やす計画

渡日する外国人留学生推移



※「出入国管理及び難民認定法」の改正(平成23年7月19日公布)により、平成23年2月1日付けで在留資格「留学」「就学」が一本化されたことから、平成23年5月以降は日本語教育機関に在籍する留学生も含めた留学生も計上。

渡日留学生在が18.4万人(2014年)

- 日本政府は中曽根首相時代2003年に留学生10万人計画を達成、2020年に30万人の留学生を渡日させる計画
- 留学生は中国の学生が最も多く、次いでベトナム、ネパール、台湾、韓国の順になっており、その中でもベトナム留学生在が急増している。
- 2015年の入国管理局のデータでは24万人が渡日している

来日する8割の留学生は日本語学校 を經由して大学・大学院・専門学校に

- 専門学校に進学する留学生に教育の中身をよく理解したうえで進学させる
- そのため専門学校は日本語学校を訪問して、出前授業を行い留学生に教育の中身を理解してもらおう

留学生対策（留学生採用企業交流会）

- 企業の採用担当者と専門学校の就職担当者と行政関係者との産官学交流会を82名のメンバーを集めて実施
- 近年企業の海外進出、インバウンドの活性化でグローバル人材としての留学生が求められ、交流会によって参加者が真の実態を把握できる

専門学校各分野ごとに留学生が やってくる

- 今後このスキームが成立すると、職業教育としてIT、自動車整備、デザイン、観光、建築等々の各分野ごとに海外の大学提携を進めることができる
- 就労できない分野、例えば調理師（和食が2年間のみ許可）、理美容、医療技師が就労できるように政府と交渉しながら、ビザの解禁を働きかける

ミナミをインバウンドの拠点に

2015年5月に大阪商工会議所で「世界一歩いて楽しい観光都市ミナミの実現に向けて」を提言

1 難波駅前の広場化

- 世界から訪れる観光客を迎える広場化
- 広場の検討会が大阪市と地元のメンバーで開かれている

2 ミナミの活性化に向けたまちづくり組織の再編

ミナミの観光コンテンツ

- ミナミから1時間以内に世界遺産が4つもある
- ミナミには観光に欠かせない「食」と「エンターテイメント」というコンテンツがある
- ミナミは関西空港に直結しており、LCCで観光客の一層の増加が見込める

エール学園には留学生1100名在籍

- エール学園は来年で50周年を迎える
- 留学生の国籍は中国40%、ベトナム35%、韓国・台湾・インドネシア・その他国が25%就職率は100%を維持
- エール学園には国際サービスマネジメント学科でホテル・旅行社に就職させている

ボランティア活動で日本文化理解

- 日本はいよいよ平成時代に本格的なグローバル社会をつくる。
- 留学生は母国に帰って、日本のよく理解者として活躍する。そのため留学生を日本のファンにして返さなければならない。
- エールはカリキュラムにメンタリングを入れて、「自利利他」や「先利後利」や「先もたち我もたつ」や「つくす自分」の理念をボランティア活動で理解させ、社会貢献を実感させる

エール学園のインターシッヅは3種類

- 社会貢献型インターシッヅ
- キャリアアップ型インターシッヅ
- 採用選考型インターシッヅ

社型会貢献インターシッヅは日本社会 に外国人との共生社会をつくる

- 20年前留学生は外国人として地域から疎外されている。
- 15年前ぐらいから留学生に地域清掃をさせた。
- 留学生はマイリティなので、奉仕することによって日本人の心が開く
- 今は留学生と地域の関係はとても融和するようになる

歴史的に見ても留学生が活躍して国を発展させている

- 日本人は縄文時代から弥生時代に多くの外国人を受け入れた。そして2000年かけて単一民族といわれる社会をつくった。
- 遣唐使という留学生が1200年前から当時の先進文化を持っていた中国から新しい文化を呼び込み日本文化の礎を築いた
- 平成の時代に日本人と外国人が共生の社会を再びつくり両国の発展に寄与し留学生が平和の使者となる

留学先の文化を理解することによって 留学生は平和の使者となる

- 留学生がボランティア活動によって日本文化の理解が促進される
- まず相手を立てる理念を吸収することによって、関係性が豊かな人材が育成される
- このような外国人材が育成されると、留学生は平和の使者となる